

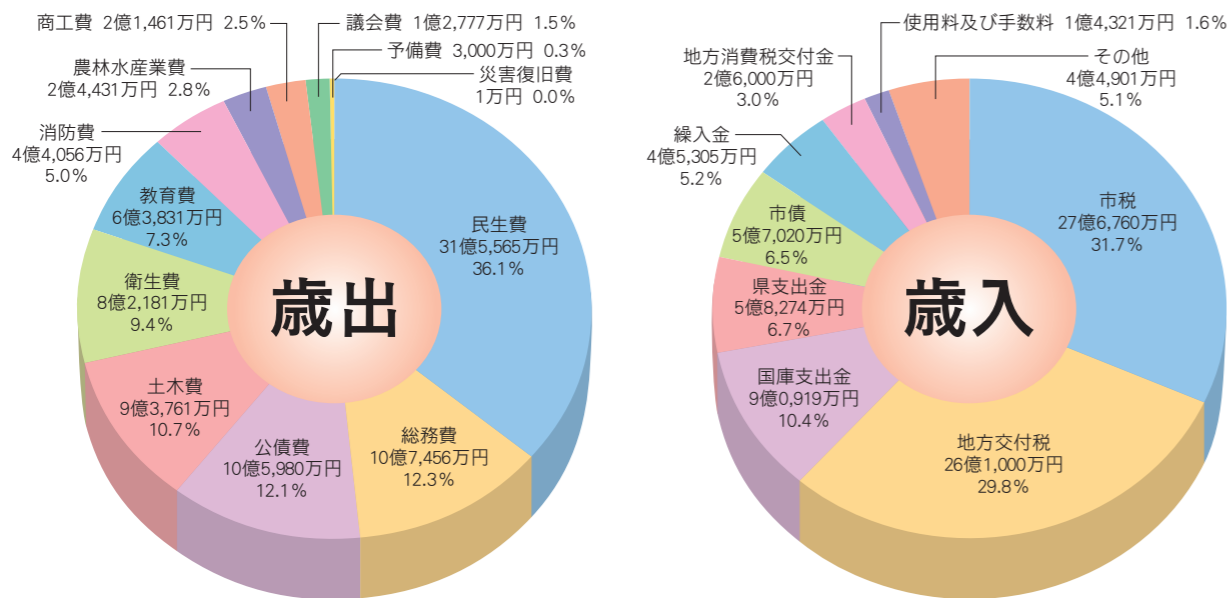
●特別会計及び事業会計当初予算

会計名	予算額	対前年度増減額	増減率
稲梓財産区特別会計	156万円	224万円減	58.9%減
下田駅前広場整備事業特別会計	750万円	410万円減	35.3%減
公共用地取得特別会計	301万5,000円	0円	0.0%
国民健康保険事業特別会計	35億4,700万円	2億7,800万円増	8.5%増
介護保険特別会計	21億8,410万円	1億9,510万円増	9.8%増
後期高齢者医療特別会計	3億1,700万円	1,800万円増	6.0%増
集落排水事業特別会計	1,540万円	190万円減	11.0%減
下水道事業特別会計	12億1,600万円	5,700万円増	4.9%増
水道事業会計	12億2,430万円	4,490万円減	3.5%減

平成24年度 予算概要

一般会計及び9特別会計合わせて、172億6,087万5千円で、前年度に比べ4億3,996万円、2.6%の増となり、各会計間の重複額を除いた純計額では、159億0,433万2千円で、前年度に比べ3億5,780万3千円、2.3%の増となりました。一般会計は87億4,500万円で、前年度に比べ5,500万円、0.6%の減となりました。

一般会計予算 87億4,500万円の内訳



一般会計歳出の概要

歳出を目的別に見ると、グラフのようになりますが、性質別に見ると、義務的経費の内、人件費は、職員4人減となったものの、共済負担金の増額などにより245万6千円(0.1%)の微増、扶助費は、生活保護費、障害サービス費等は増となったものの、子ども手当制度の改正により、対前年度6,835万3千円(4.0%)の減、公債費の地方債元利償還金は、対前年度1,345万9千円(1.3%)の減、消費的経費は、基幹システム(住民情報)の更新、重点雇用創出事業等の各種委託料の減額により、対前年度4,383万9千円(3.6%)の減、補助費は、黒船祭執行会補助金や住宅用太陽光発電システム補助金等の新設により2,600万円(2.7%)の増、投資的経費は、敷根公園改修事業や上河内住宅改修事業により、対前年度7,008万2千円(22.0%)の増、積立金は、対前年度1億2,568万4千円(69.0%)の減となりました。

一般会計歳入の概要

歳入を性質別に見ると、自主財源が36億9,086万4千円(全体の42.2%)、対前年度4,623万円の減となり、依存財源は50億5,413万6千円(全体の57.8%)、対前年度877万円の減となりました。増額となりました主なものは、①線入金は、財政調整基金からの線入金の増により、対前年度2億8,938万3千円(176.8%)の大幅増、②市債は、認定こども園建設事業、敷根公園改修事業、上河内住宅改修事業等の実施に伴い、対前年度8,410万円(17.3%)の増、一方、減額となりました主なものは、①市税は、市民税、固定資産税、入湯税等の落ち込みにより、対前年度3億2,740万円(10.6%)の大幅減、②国庫支出金は、生活保護扶助費の増や社会資本整備総合交付金の増を見込んだものの、子ども手当制度等の変更により大きく減少となり、対前年度6,295万8千円(6.5%)の減となりました。

用語メモ

一般会計…市の会計の中心をなすもので、市の行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計
特別会計…特定の事業を行う場合に、特定の歳入を特定の歳出に充てるなど、一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計
自主財源…市税など市独自に確保できるお金

依存財源…国・県からの交付金や借入金などに依存するお金
財政調整基金…年度間の財源の不均衡をならすための積立金で、地方財政法で設置が義務づけられている基金
市債…公共施設建設や整備等をするために借り入れるお金
地方交付税…各市町村が一定の行政水準を維持できるように国が一定基準によりに交付するお金

4 安心なまちづくり

●東日本大震災の経験や国県の被害想定の見直しに沿って、下田市地域防災計画の改定を行い、ハザードマップを整備

- 公共施設ユニバーサルデザイン化事業助成金を活用し、来館者の利便性向上を努めるとともに老朽化した空調設備の改修を行います。
- 外ヶ岡交流館管理運営事業(指定管理料、館内案内看板作成、修繕料等) 2,354万6千円
- 推進整備事業 425万円
- 伊豆地域の市町との連携を強化し、伊豆半島ジオパーク推進協議会の一員として地域が一体となった取り組みを行います。
- 伊豆半島ジオパーク 推進整備事業 339万6千円

●名誉市民大久保婦久子先生の作品展示や休憩施設として一般公開するとともに、伝統芸能継承者育成事業等を活用し、魅力ある観光地づくりを推進するための拠点施設として活用します。

●旧澤村邸管理事業 339万6千円

●伊豆地域の市町との連携を強化し、伊豆半島ジオパーク推進協議会の一員として地域が一体となった取り組みを行います。

●伊豆半島ジオパーク 推進整備事業 339万6千円



災害時に備え、迅速かつ正確な情報提供のため、適切な維持管理に努めます

●子育てに伴う経済的負担を軽減するため、入院及び通院医療費助成を中学生までの子どもに行います。

●子ども医療費助成事業 4,700万円

●防災関連機関との連携を更に強固なものとするため、防災無線のデジタル化を行うとともに、市民への迅速かつ正確な情報提供のために適切な維持管理を努めます。また、自主防災組織との連携を強化し、より一層実効性のある組織づくりを推進します。

●地域防災対策総務事務(同報・行政無線維持、災害用備蓄品購入等) 1,912万1千円

●ハザードマップ整備事業 371万3千円

●防災関連機関との連携を更に強固なものとするため、防災無線のデジタル化を行うとともに、市民への迅速かつ正確な情報提供のために適切な維持管理を努めます。また、自主防災組織との連携を強化し、より一層実効性のある組織づくりを推進します。



子育てに関する様々な支援を積極的に行います

●次代を担う子どもの健やかな発育を支援するため、子ども手当を支給します。

●子ども手当支給事業(対象児童延べ28,320人) 3億1,968万1千円

●少子化が進行する中で、地域が一体となった子育て支援の推進を図るため、民間組織や関係機関との連携・強化に努めます。

●子育て支援ネットワーク事業 26万円

●支援を必要とする保護者と支援する意欲を持ったボランティアを結び付けるファミリーサポートセンターを開設し、子育てに対する不安や負担の軽減に努めます。

●ファミリーサポートセンター事業 50万2千円

5 持続発展できるまちづくり

●新庁舎建設基本構想及び基本計画の策定、併せて、実施設計業務に必要な仕様書等の作成、発注方法の検討を行うとともに、建設予定地の土地鑑定評価事務や測量業務等を実施します。

●新庁舎等建設推進事業 4,133万3千円

●耐震性向上のために啓発・支援を行い、良好な住環境の拡充に努めます。

●住宅改修建替支援事業(ブロック塀等耐震改修・民間建築物アスベスト対策補助金) 376万5千円

●第10次消防施設整備5カ年計画に基づく、第5分団の小型ポンプの更新を行い、消防力の充実強化を図ります。

●消防施設等整備事業 170万7千円

●定期予防接種を勧奨し、昨年度に引き続き子宮頸がんワクチン、乳幼児のヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種の無料実施を継続します。

●予防接種事業(子宮頸がん、ヒブワクチン等) 4,330万8千円



黒船祭は感謝の意と復興に向けて力強く前進することを確認する祭典とします

●供用開始以来20年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、長寿命化計画に基づき、浄化センター及びポンプ場機器の更新を進めます。

●下水道施設等更新事業 1億4,608万3千円

●東日本大震災の災害補助、災害支援活動に全力を挙げて取り組まれた関係機関の皆様方に感謝の意を表すとともに、復興に向けて力強く前進することを確認する祭典と位置づけ実施します。

●観光総務事務(黒船祭執行会補助金) 2,320万円